

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	農業振興課							
政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために									
政策名	3 農林業の付加価値を高める		「農林業の付加価値を高める」ため、担い手の育成や生産基盤の充実などにより、安定した稲作経営を実現するための「安定した水田農業基盤の確立」、農産物の品質を向上するとともにブランド化を推進し、産地間競争に打ち勝つための「農産物の産地力の向上」、魅力や活力ある農村社会を形成するための「農村地域の活性化」、農林業のさまざまな公益的機能を維持・向上するための「環境と調和した農林業の推進」に、重点的に取り組みます。							
目標	生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業に付加価値が高まっています。		政策の指標	農林業が、活発化していると感じている市民の割合						
政策を取巻く環境	輸入農畜産物・外材の需要増加などに伴う国内における第1次産業の所得の低迷や、担い手の高齢化や従事者の減少に伴う営農・営林が困難な状況にある中、耕作放棄地や荒廃する山林が増加傾向にある。このため、多様化する消費者の価値観に対応した生産物を安定的かつ持続的に提供できるよう、産業としての持続力や競争力を強化するため、担い手の確保・育成や他産業との連携促進、農林業が持つ多面的機能の発揮が求められている。		政策指標の進捗状況	H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
				28.4%	18.1%				40.0%	45.3%

2. 政策の評価

現状と課題の分析	<p>政策指標の進捗状況は10ポイント以上も減少しており、目標の40%は達成が厳しい状況である。これは、一時の原油価格の高騰による農業資材高騰や産業全般における世界同時不況の影響によるものと思われる。</p> <p>各施策の状況については、施策指標の進捗は全般的に順調であり、また、市民意識の「重要度」については、「農村地域の活性化」を除くいずれもがほぼ中位の状況となっている。しかしながら、「満足度」においては「農村地域の活性化」が極めて高く（10位）、また「農産物の産地力の向上」は高い状況（19位）にあるものの、「安定した水田農業基盤の確立」（64位）や「環境と調和した農林業の推進」（53位）は低い状況である。</p> <p>このようなことから、認定農業者など地域農業の中核的な担い手の確保・育成を図るため、経営の多角化や耕地利用率を向上させるとともに、農業の持続性を高めるため、バイオマスの有効活用の促進や資源循環型農業に対する生産者・消費者・事業者の理解や取組を促進する必要がある。また、農村地域のコミュニティー機能の維持・向上を図るため、地域資源の再認識と有効活用とともに、地域外の市民に対する情報提供の促進などにより、農業農村の魅力や価値と重要性を広く知ってもらう必要がある。</p> <p>さらに、主要農畜産物の産地力の向上を図るため、生産振興による生産量の増大とともに、品質の向上やブランド化、さらなる販路の拡大が必要である。</p>
----------	---

3. 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価	市民の意識		
		施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標		進捗状況	満足度	重要度
1	安定した水田農業基盤の確立	認定農業者数（経営体）	680	688	730	94.2%	計画的な生産調整や担い手の経営基盤の強化に対する支援などにより、水田農業の経営の安定化を図り「安定した水田農業基盤の確立」を図っているものであるが、さらに「農林業の付加価値を高める」ため、新たな需要となる米粉用米・飼料用米や菜種の作付けとともに、園芸作物との複合化などによる水田利用率の向上を促進することで、水田農業の収益性を高めていくこと。	18.4%	66.4%
2	農産物の産地力の向上	トマトの出荷量（トン）	4,649	4,218	4,750	88.8%	米の生産調整による保全管理地などの有効活用や稲作における園芸作物との経営の複合化など、生産量の増大や収益性の向上により「農産物の産地力向上」を図っているものであるが、さらに「農林業の付加価値を高める」ため、適正な施肥などによる「土づくり」への支援や、統一的な家畜の飼育方法などによる農畜産物の高品質化、トレーサビリティの仕組みづくりなどによる安全性の明確化や安心感の向上を図ること。	31.1%	71.7%
		肉用牛の出荷量（頭）	805	835	800	104.4%			
3	農村地域の活性化	都市農村交流参加者数（千人）	1,286	1,312	1,351	97.1%	地域住民が生活環境の保全やコミュニティの維持に取り組むとともに、地域資源を有効活用した都市と農村の交流事業や農林業祭等のイベント開催などにより、多くの市民等との交流を促進することで、農村地域の活力や魅力が向上し「農村地域の活性化」が図られているものであるが、さらに「農林業の付加価値を高める」ため、都市と農村との交流を通して一人ひとりの身近な行動が、本市農業の持続性に貢献できることについて理解促進を図り、地元農畜産物を積極的に選択し地元農家を買支えるなどの行動を喚起するとともに、農林業の持つ公益的機能の重要性を広く周知するなど、市民の農林業や農村の価値の再認識につなげていくこと。	37.1%	62.1%
4	環境と調和した農林業の推進	エコファーマーの認定者数（人）	591	623	760	82.0%	環境問題への意識の高まりに応えるとともに、資源循環型社会の実現を目指すため、地域の主体的な耕作放棄地解消に対する支援や、森林の間伐・枝打ちなどによる適正管理の促進などにより農林業の公益的機能を維持し「環境と調和した農林業の推進」を図っているものであるが、さらに「農林業の付加価値を高める」ため、減農薬・減化学肥料などの環境保全型農業やバイオマスの利活用促進などにより、資源循環型社会に対応した産業への転換を図ること。	20.7%	68.2%
							また、これらの取組内容やその意義について理解促進を図り、市民や事業者を含め全市一丸となって取組を進めていくこと。		